



神田外語大学に学生食堂「食神(しょくじん)」がオープン 国内大学施設として“初”の「ムスリムフレンドリー認証」取得

神田外語大学（千葉県美浜区／学長：酒井邦弥）は、5月13日（火）にアジアをテーマにした学生食堂「食神（しょくじん）」のオープニングセレモニーを開催いたします。

この食堂は、衣・食・住の“文化”の中でも特に欠かせない“食”を通して「アジアの言葉と文化を学ぶ場」をコンセプトとして創設に至りました。神田外語大学・アジア言語学科の専攻である、中国・韓国・インドネシア・ベトナム・タイなどのアジア地域の料理を提供します。さらに食堂内部はアジアの地域から輸入された家具や調度品、屋台などを配置し、学生サークルのパフォーマンスの場として活用できるステージや、外国人教員による料理教室が開催できるキッチンなど、学生達が発展著しいアジアに興味を持つきっかけとなる環境が整っています。2014年秋頃には近隣の住民向けに一般開放する予定です。

アジア言語学科を設置する神田外語大学では、英語に加えて、専攻言語として中国・韓国・インドネシア・ベトナム・タイなど、世界経済の成長の中核となるアジア地域の言語と文化の教育を行っており、異文化を理解した上で「世界を舞台」に活躍する人材の育成を推進しています。2008年には各国の建物を模した、多言語コミュニケーションセンター「MULC」(Multilingual Communication Center)が完成し、日常的に異文化を体験できる空間の中で外国人教員や留学生との会話を通して、生きた言語や文化を学んでいます。



新しく創設した、“食”を通してアジアを学ぶ学生食堂「食神(しょくじん)」では、本場の味が1品200～400円程度で楽しめるだけでなく、本場の雰囲気も味わえるようアジアの家具や調度品を配置し、食の空間を忠実に再現しています。「ストリートベンチエリア」や、「屋台テーブルエリア」、タイ舞踊やインドネシアのガムラン(民族音楽)などの学生サークルのパフォーマンスを楽しめる「ステージエリア」、タイのトゥクトゥクなど、本場のアジアを再現する為に各国から現物を直接取り寄せています。

◆イスラム教徒に配慮したハラールメニューを用意

2013年に訪日外国人数が初めて1000万人を突破し、東南アジアを中心にイスラム教徒の観光客が急増している中、神田外語大学ではハラール食提供の取組を通して、異文化理解を図っていきます。

「食神」は、ムスリムフレンドリー認証施設として、イスラム法に則した食材、加工、調理方法を用いたハラールメニューを用意し、ハラール食への知識を得る機会を作ると共に、神田外語大学で学ぶムスリムの留学生にも対応できる学食として機能していく予定です。日本国内の大学施設における、ハラール認証機関NAHA(日本アジアハラール協会)「ムスリムフレンドリー」認証取得は初となります(2014年5月7日時点)。さらに食堂入口前にはムスリム水場、2階にはイスラム礼拝スペースを設置しています。

なお、今後は2014年秋頃を目途に、大学近隣の人々も楽しめるスペースとして一般開放を予定しています。

【食神(しょくじん)オープニングセレモニー概要】

日時:2014年5月13日(火)16:00～17:30まで(予定)

場所:神田外語大学 新学生食堂 アジアン食堂「食神」

千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1

来賓(予定):千葉市／熊谷俊人市長

特定非営利活動法人日本アジアハラール協会理事長・リード監査員／Dr. サイド・アクター代表





式次第: 16:00－開会の言葉

16:05－神田外語大学学長・酒井邦弥より挨拶

16:10－来賓祝辞

16:20－特定非営利活動法人日本アジアハラル協会理事長・リード監査員 Dr. サイド・アクター代表より挨拶

16:35－神田外語大学外国語学部アジア言語学科、各専攻の学生より祝いの言葉

16:40－祝電披露

16:45－二胡「耕音会」演奏

16:55－タイ音楽演奏・舞踊

17:10－インドネシア音楽演奏・舞踊

17:25－閉会の言葉(佐野学園理事長・佐野元泰)

※本リリースは大学プレスセンター、文部科学記者会、千葉県政記者クラブにも配信しております。

〈本件に関するお問合せ先(土・日・祝を除く)〉

学校法人佐野学園 広報部 担当: 渡邊公代

TEL: 03-3258-5837 E-mail: media@kandagaigo.ac.jp

